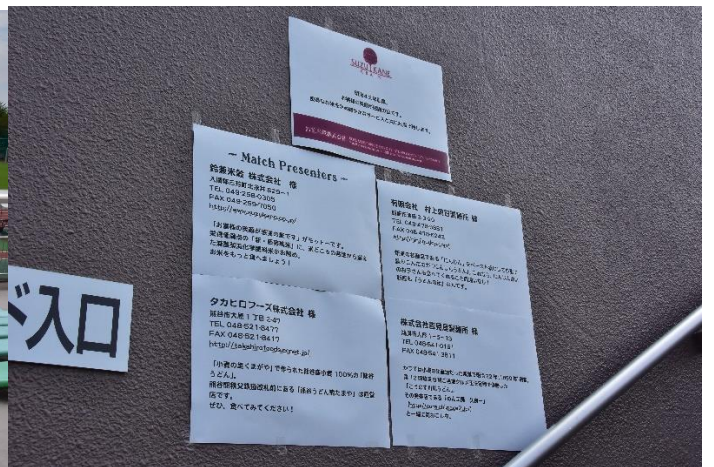


2016年、さいたまサッカークラブのホームゲーム振り返り
 ～後期第9節、vs FC KOREA～ 2016.09.25@鴻巣市立陸上競技場



▲今回は左から**富山県産のコシヒカリ** 2kg (鈴兼米穀株式会社様 入間郡三芳町北永井 829-1 TEL 049-258-0305/FAX 049-259-7050 <http://www.suzukane.co.jp/>)、**熊谷うどん** (タカヒロフーズ株式会社様 熊谷市大原 1丁目 2-47 TEL 048-521-8477/FAX 048-521-8417 <http://takahirofoods.ecnet.jp/>)、**新座にんじんうどん** (有限会社村上朝日製麺所様 新座市池田 3-3-20 TEL 048-478-3881 / FAX 048-478-6242 <http://ninjinudon.com/>)、そして**こうのす川幅うどん** (株式会社吉見屋製麺所様 鴻巣市人形 1-5-13 TEL 048-541-0161/FAX 048-541-3811 特別協力「めん工房 久良一」様 <http://curaichi.page2.jp/>) のご協賛をいただきました。改めて、感謝申し上げます。



▲このような形ではありますが、場内で商品などの紹介をして、理解を深めていただこうと思っています。この紹介の中に写真を入れたり、ホームページのQRコードを入れたり、まだまだ工夫の余地はあると思います。「こんなことをしてほしい」「こういう協力はできる」などのご意見は参考になりますので、お聞かせください。



▲今回のボーイズマッチは、地元の鴻巣高校（白。顧問はクラブOBの福田直史先生）と三郷高校（青。顧問は副キャプテンで右サイドバックの石川峻己先生）でした。両チームにはクラブとして日頃からお世話になっています。また、今回の準備もお手伝いいただき、ありがとうございました！



▲短い時間でしたが、楽しんでいただけましたか？ もっと県内の子どもたちと交流したいと思っています。来年も9試合ではありますが、ホームゲームに県内のチームを招待したいと思っています。



▲勝敗は時の運。両チームからMVPを選び、鈴兼米穀株式会社様ご提供の富山県産のコシヒカリ 5kg をプレゼントしました。来年はこういうご協賛も募りたいと思っています。子どもたちの笑顔とがんばりを共に喜んでいただけるご協賛社様、お待ちしております。





▼今林、飯野、貴島、杉下と前半だけで4ゴール。ここ3試合のドロー（エリース戦は2点目が奪えず1対1、tonan 前橋とはグラウンドコンディションも悪く、勝ち点1でも欲しい状態の相手に合わせて0対0、そして流通経済大学FCとは、常に先に点を取りながらアディショナルタイムに追いつかれて3対3……）の鬱憤を晴らしてくれました。



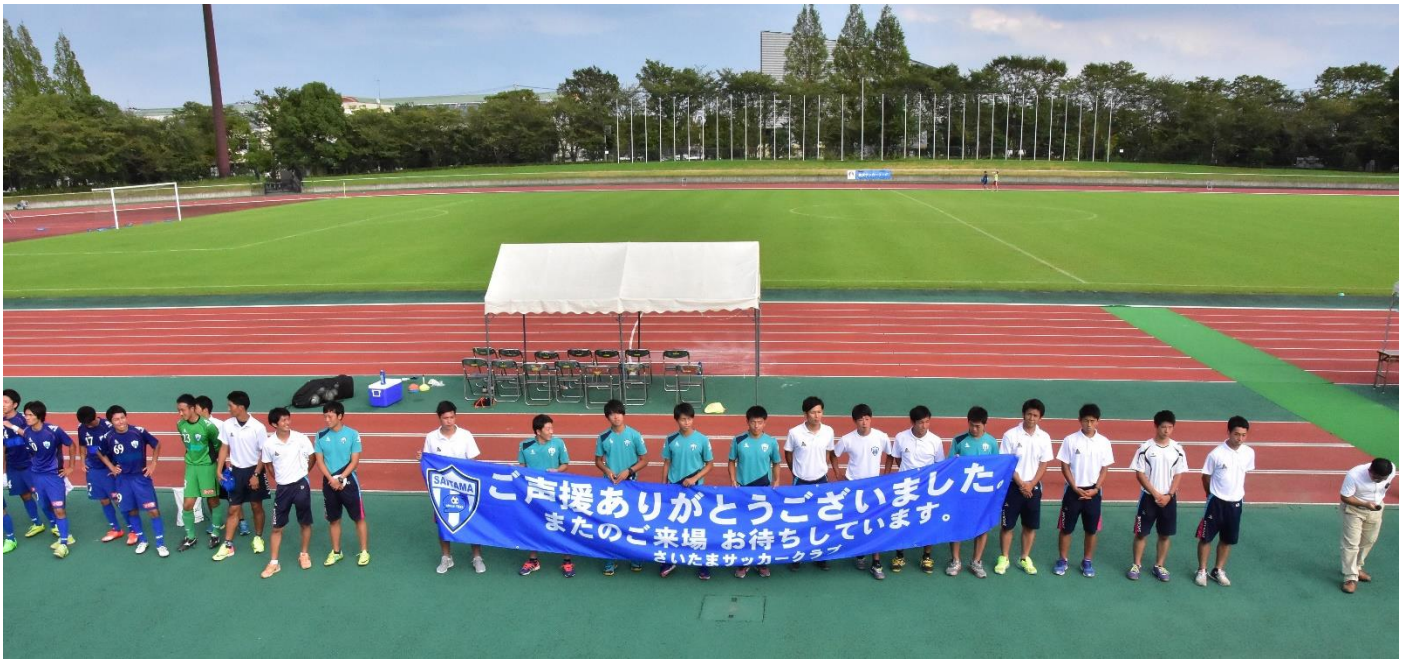
▼しかし、後半に入るとトーンダウン。「もう1点」が遠く、時間ばかりが過ぎていきました。そんな中、「背番号13」がピッチに戻ってきました。甲能光、526日ぶりの復帰。大黒柱の登場に、場内は活気づきました。そして、なんとか甲能にゴールを、という思いでチームが一つになりました。



▼すると、劇的な歓喜が待っていました！ アディショナルタイム5分にヘディングシュートが決まりました！



▼終わってみたら、5対0。ホーム最終戦を飾るに相応しい内容と結果でした。来シーズンは、もっと多くの皆さんと共に勝利をわかち合いたいと思っています。



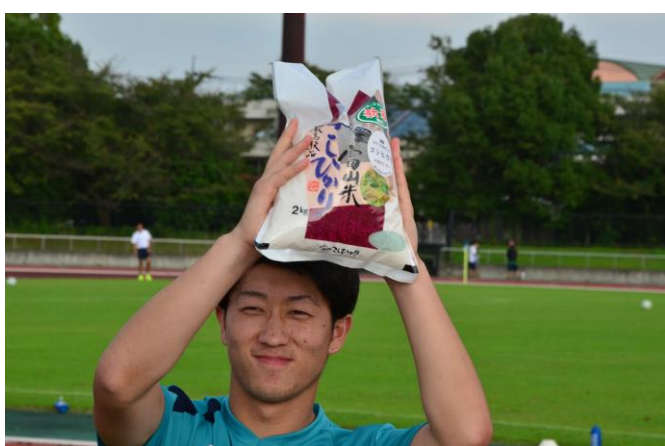
▼この試合で秋山監督は、関東リーグ 100 勝を達成しました。勝って、ホントによかったです！



▲甲能のゴールをアシストした主将の青木がセレモニーを締めました。貴島は今日のゴールで 10 得点。チャンスに何度も外しながらも、なんとか得点王になりました（あと 1 点取っていれば単独でしたが、今年は 4 人並んでしまいました）。

そしてこの日の MVP は日高でした。攻撃陣ばかりが目立った試合ではありましたが、しっかり前へ前へと相手のスペースを消し、1対1の局面でも負けませんでした。今期 2 度目の無失点試合を演出してくれたので受賞です。こういうことも選手たちには大きな励みとなります。

ぜひ、選手の「がんばり」をサポートして下さるスポンサー様をお待ちしています！





【募集】

- 来期のユニフォームスポンサー（デザインが変わります）及び賛助会員の募集を開始しました。金額につきましては、お問い合わせください。
- 試合前の「ボーイズマッチ」（仮称）のスポンサーになっていただける企業様を募集しております。
 - ・基本的には当日は1試合のみ。少年団同士、中学生同士、高校の女子チーム同士などを予定しています。
 - ・試合前に、両チームの選手たちに企業名の入った横断幕を持ってもらい、記念撮影を行います。
（横断幕は、試合中会場に張らせていただきます）
 - ・試合後には30分程度、試合に出た選手たちと交流してもらいます（秋葉の森サッカー場限定）。
- 県内各地で「サッカークリニック」を行います。シーズン内でもご相談ください。
- マッチデープログラム（MDP）を限定200名にお配りしています。広告のスペースをご用意しております。ご連絡ください。
- 協賛の仕方は様々です。ぜひ、一度ご連絡ください。

【理事長・荒川裕治より皆様へ】

今年も多くのご声援、ありがとうございました。ボーイズマッチ（仮称）を始めたことが、ホームゲームそのものが、より活気ある賑わいの場となりました。参加してくれた子どもたちに感謝します。また指導者の皆様、保護者の皆様、観客の皆様が一体となっていていい雰囲気を作っていたいただいたことで、選手たちはどれだけ奮起することができたでしょう。今年やってきたことは、すべて2017年に向けて大きな基盤となりました。また会場を提供していただいた秋葉の森、鴻巣、川越の各会場のスタッフの皆様にも感謝申し上げます。

さて、2017年をどう向かっているのか。今、様々なことを考えています。ただはっきり言えるのは、今年よりも順位を上げること、全国大会（天皇杯、全国社会人サッカー大会、そして全国地域サッカーチャンピオンズリーグ）に出場することを県民の皆様にご約束し、それを実現させることです。

そのためには、今まで以上に皆様のご協力が必要となります。サッカー、それもアマチュアのレベルから埼玉県を、さいたま市を活気づけたいと思っています。個人的には非力ではありますが、これからもさいたまサッカークラブをよろしく願い申し上げます。

共に、HI-TA-MU-KIに！